

平成24年度 土木部 6月補正要求概要

平成24年6月4日
福島県土木部

補正予算の概要

- 1 東日本大震災による津波被災地の復興まちづくりを支援する道路整備等、復興に関する事業の増額補正を行います。
- 2 応急仮設住宅の建設及び追加工事に必要な経費の増額補正を行います。
- 3 放射能に汚染された下水道汚泥対策等、緊急に必要な経費の補正を行います。

補正予算の規模

○平成24年度6月補正 土木部予算

一般会計 274億 9,607万円

●復興関係事業の増額 24億 294万円

●応急仮設住宅にかかる経費の増額 244億7,160万円

●下水道汚泥対策、県営住宅の災害復旧等 6億2,153万円

特別会計 5,448万円

(下水道汚泥の放射能対策等)

主な事業内容

復興まちづくりを支援する道路整備等、復興に関する事業の増額

・津波被災地の復興まちづくり支援のための道路の整備	9億4,161万円	} P.1
・津波被災地と内陸部を結ぶ東西連携道路等の整備	9億3,151万円	
・漁港環境施設の復旧、道の駅よつくら港情報館の改修補助	5億2,982万円	P.2

東日本大震災等による被災者の応急仮設住宅に関する経費

・市町村の要請に基づく建設及び風呂の追い炊き機能等の追加工事	244億7,160万円	P.3
--------------------------------	-------------	-----

下水道汚泥対策

・保管汚泥の処分及び減容化施設導入に関する緊急対策業務	2,462万円	P.4
-----------------------------	---------	-----

津波被災地等における道路整備を推進します

事業の概要

1 津波被災地における道路整備

復興計画等に位置づけられた市街地相互の接続道路等の整備を推進します。

2 災害に強い道路ネットワークの構築

浜通りと中通りをつなぐ東西連携道路の道路改築等を新たに追加し災害に強いネットワーク構築を推進します。

◇復興交付金事業



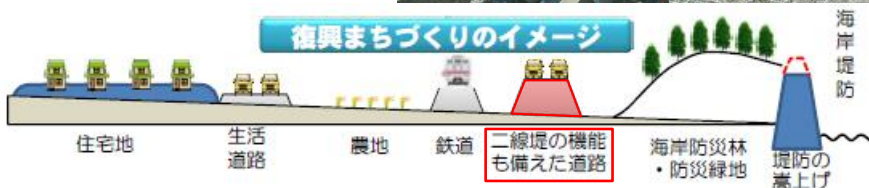
相馬亘理線(新地)

津波被災地の復興まちづくりと一体となった道路整備を行います。

泉岩間植田線(いわき市岩間)



復興まちづくりのイメージ



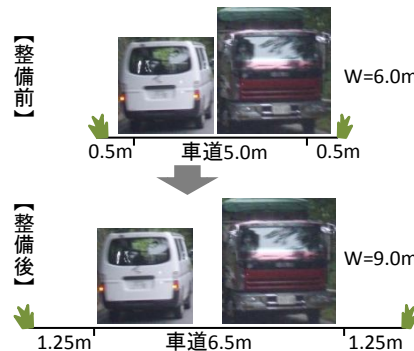
◇交付金事業(再生・復興)



国道288号(船引BP)

東日本大震災を踏まえ、災害に強い道路ネットワークを構築します。

小野富岡線(川内村五枚沢)



東日本大震災により被災した漁港環境施設を復旧します

事業の概要

漁港環境施設の復旧

津波により被災した漁港環境施設を復旧し、良好な漁港環境の創出とともに地域水産業の復興を図ります。

◇四倉漁港の復旧

「道の駅よつくら港」の復旧に併せて、周辺の広場や駐車場、トイレなどの復旧を行うことにより、良好な漁港環境の創出を図り、地域の復興を支援します。

道の駅よつくら港



応急仮設住宅の建設及び追加工事を行います

事業の概要

1 応急仮設住宅の建設

市町村からの要請に基づき、県外からの帰還や就学・就労等により県内で移転する避難者のために、応急仮設住宅を建設します。

2 応急仮設住宅への追加工事

応急仮設住宅の居住環境改善のため、お風呂の追い焚き機能追加や物置設置の工事を行います。

◇応急仮設住宅の建設



完成イメージ



工事状況（イメージ）



◇応急仮設住宅への追加工事



現在の給湯機を追い焚き機能付き給湯機に交換します。



生活物資の保管場所として物置を設置します。

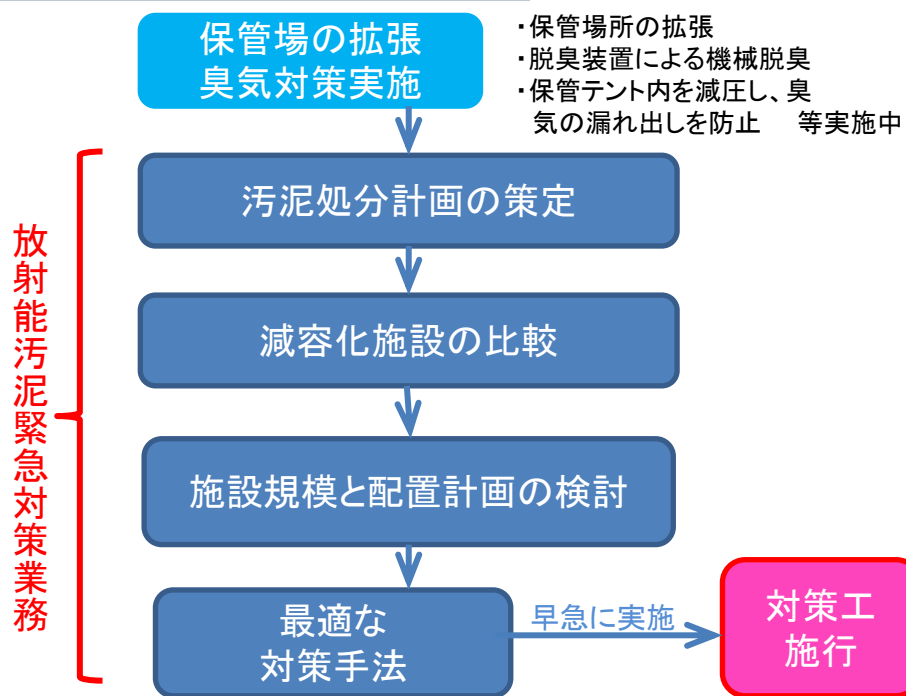
放射性物質を含む下水汚泥の緊急対策を行います

事業の概要

県北浄化センターと県中浄化センターの下水汚泥は、東京電力(株)福島第一原発の事故以降、従来までの処分先へ搬出が出来ず、保管が続いています。

保管汚泥の腐敗による臭気が周辺環境の悪化を招いていることから、汚泥の保管、減容化※、処分などの全体的な処理方針を整理すると共に、臭気対策と保管容量の確保のための減容化の手法等を緊急に検討するため、放射能汚泥緊急対策業務を実施します。(※減容化とは、汚泥を乾燥や焼却して場外へ搬出する容量を少なくすることです。)

汚泥処理処分一連の流れ



◇汚泥保管テントの設置状況 (県北浄化センター)



◇汚泥保管ヤードの状況 (県中浄化センター)

